

なんで男の子なんだ(4月21日 40日目)

宿を出てから一貫して登り。6キロ手前から登りは急勾配になり、遍路道に入ってから3キロは、正に「The 遍路転がし」、ものすごい登りです。更に、60番札所横峰寺を参拝してからの下り坂は、とにかく急勾配で長い!下り切ったからの参拝は、申し訳ないけど、疲れ果てて気持ちが余り入っていませんでした。60番札所横峰寺、61番札所香園寺、62番札所宝寿寺及び63番札所吉祥寺の4霊場を巡拝します。

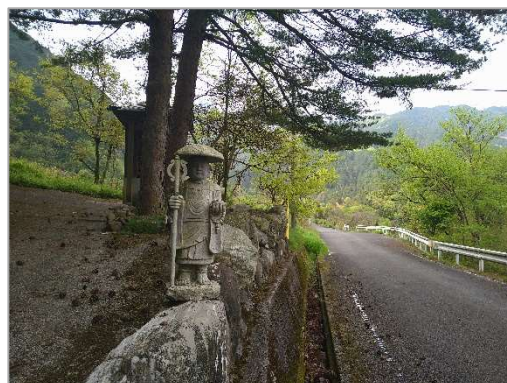
60番札所石鉄山福智院横峰寺(よこみねじ)は、山岳信仰の霊地であり、修験道の道場でもある西日本の最高峰・石鎚山(標高1982m)山系の北側中腹(745m)に建つ霊場です。

舗装された一般道から左に折れて、山の中に分け入るように遍路道に入ります。この遍路道は横峰寺道と呼ばれ、古道の保存状態が良く、丁石、地藏菩薩像や墓石などのお遍路文化を見ることができます。手が加えられてない遍路道だけに、キツかった~!の一言に尽きる、長いながい我慢の一日でした。徐々に、ストックに頭をあずけて、滴る汗の中で呼吸を整える状態でした。60番札所横峰寺のご詠歌は「たて横に峰や山辺に寺たててあまねく人を救ふものかな」と読まれ、山岳信仰の霊地であり、修験道の道場でもあることを読み取られます。

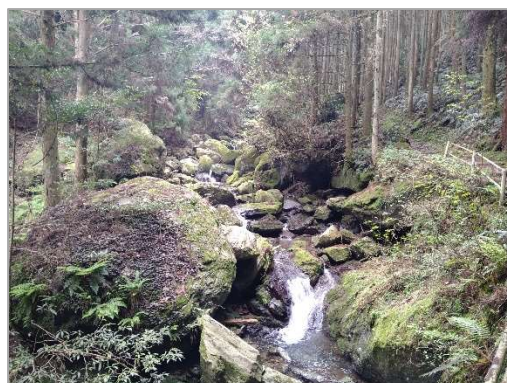
巡拝を終えて境内を出て駐車場方向に歩いていたとき、台湾から来ていた巡礼者に「ツマラナイモノデスガ」と、言われながらレーズンをチョコレートで包んだお菓子頂きました。横峰寺に車で来ていたようで

台湾の巡礼者は、ご家族で来ていたようで、手書きの納め札を頂きました。私も、納め札を渡し「南無大師遍照金剛」の宝号を唱えて、来日のお礼と旅の安全を祈りました。

長い下り坂を経て着いたのが61番札所梅檀山教王院香園寺(こうおんじ)です。ここは、外観上はお寺と言うよりはコンサートホールのような感じです。しかし、本堂に入るとステージにあたる部分に本堂及び太子堂があり、客席に相当する場所の座り心地のいい椅子で読経するのです。ビックリの超現代版札所です。61番札所香園寺は、御本尊対日如来の脇仏に子安大師像があり、安産のご利益があると信仰が集まっています。弘法大師が巡錫した折りに難産で苦しむ婦人のため、梅檀(ビャクダン科ビャクダンの別名)のお香を焚いて加持・祈念すると健康な男の子を無事出産したといわれています。以来、このお寺に「安産・子育て・身代わりそして女人成仏」の四請願と秘法を伝え、霊場と



弱音を吐きそうな所に建っています



古道横峰寺道

定めたとあります。また、この縁記に基づき、子安講を創設し、講員は国内外に広がっているとのこと  
です。

むむ、「健康な男の子を無地出産」。なんで男の子なんだ。無事に「元気な子どもが生まれた」では  
いけない理由があるのだろうか。奈良時代に中国の制度を参考にして設立された律令制度の影響  
や平安時代あたりから社会制度として整いはじめた「家」という観念等々により、男性の社会的地  
位が高められていったのだろうか。私は弘法大師に強く問いたい、「ナンデ、オトコノコナノッシャ」と。

62 番札所天養山観音院宝寿寺(ほうじゅじ)及び 63 番札所密教山吉祥寺(きちじょうじ)は、  
こちんまりした札所でした。弘法大師がこうした庶民的な札所にも関わったということには、生意気  
な言い方ですが共感が持てます。弘法大師は、法力で何か大きなことを成し遂げるということだけ  
ではなく、笑顔で庶民の暮らしに寄り添い見つめている。こうした弘法大師も「インデナイガイ」って  
思うのです。

巡拝を終えてからの下り坂は、長くて険しいもので、足首や指先が痛くなりました。出立から宿に着  
くまで 10 時間は、さすがにキツく、消費カロリーは、12 番札所焼山寺の 5,139 キロカロリーに次  
ぐ 4,229 キロカロリーでした。歩くのに精一杯で、お寺に着いてからの読経も、少々雑になってしま  
いました。疲れている、そうでもない等々、その時々状態で参拝に差があってはいけませんよ、  
大反省です。

#### 行程等基本データ(4月21日40日目)

- ・巡拝寺院:4 寺巡拝(60 番札所~63 番札所)
- ・天気:午前 曇り/午後 晴
- ・歩いた時間:10 時間 00 分/日(6 時 41 分宿発~16 時 41 分着)
- ・歩いた距離:24.6 km(平均速度:2.5 km/h)
- ・通過市町村:1 市(西条市)
- ・高低差:748m(14m⇄762m)
- ・消費カロリー:4,229 kcal